

9640
號 五六第

房官臣大		課局務主		大臣 季		件名		受領		保存期		決行指定		決裁指定		局長	
丁結	領受	出送	領受	號番	次官	第十師團諸部隊兵器現状視察ニ関スル件		受領	受領	期限	期限	決行	決裁	永久			
昭和	昭和	昭和	昭和	甲二〇四	季	第十師團諸部隊兵器現状視察ニ関スル件		受領	受領	期限	期限	決行	決裁	永久			
十月	十月	西曆	西曆	局長	高段			副官	局長	局長	局長	局長	局長				
決行後 同覽		決行後 同覽		局長	局長	第十師團諸部隊兵器現状視察ニ関スル件		參與官		審記官		審記官		陸軍			
局長		局長		課長	課長			主務副官	主務副官	審記官	審記官	審記官	審記官				
局長		局長		課長	課長	第十師團諸部隊兵器現状視察ニ関スル件		審記官		審記官		審記官		陸軍			
局長		局長		主務副官	主務副官			審記官	審記官	審記官	審記官						

甲兵書

陸軍

陸普第七〇〇九號
副官ヨリ技術本部経務部長へ通牒
別紙要領ニ依リ第十師團諸部隊、帰還兵器ノ現状ヲ
視察シ其ノ状況ヲ視察後二週間以内ニ報告セラレ
度依命通牒ス

陸普第七〇〇九號

昭和四年十二月一日

副官ヨリ第十師團參謀長へ通牒

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通陸軍技術本部ニ通牒セシ
ニ付之カ實施ニ対シ便宜ヲ与ヘラレ度依命通牒ス

陸普第七〇〇九號

昭和四年十二月一日



第十師團諸部隊兵器現狀觀察要領

第一 觀察ノ目的

第十師團諸部隊ノ内地増進後復舊整理前ニ於ケル兵器ノ現狀ヲ觀察シ應急復舊ニ對スル資料ヲ得ルト共ニ今次事變ノ兵器ニ及セル影響ト實績トヲ探究検討シテ制式、製造、採用検査及取扱保存ノ關係事項等ノ改善殊ニ一層之カ戦時下ニ要スル資料ヲ蒐集シ且取扱保存ニ關シ所要ノ指導ヲ行ヒ以テ兵器整備ノ適正ト取扱保存ノ向上トヲ期スルヲ目的トス

第二 觀察部隊及期日並編成

觀察部隊及期日並ニ觀察官ノ編成ハ附表ノ如シ

第三 實施ノ要領

左ノ要領ニ依リ實施シ觀察目的ノ達成ニ努ム

一 觀察兵器

ノ各部隊

- (イ) 通信、照明、近接戦闘、木工、土工、測量ノ各器材全部
 但シ野戰武器或ハ機關具等ニ屬スル銃、霰、斧、鋸、圓
 匙、十字鐵頭ノモノ或ハ十米卷尺、電話機等ニシテ器材
 ノ制式ト同シモノハ夫等ヲモ含ムモノトス
- (ロ) 輕、重機關銃、火砲ノ一部

但シ之ヲ有スル部隊ノミトシ且各部隊各兵器等ニ各程度

區分等ニ若干宛代表的ニ觀察ス

(4) 其他ノ兵器ニシテ代用品又ハ規格變更品ヲ使用セル兵器

ノ一部

騎兵隊 前記ノ外爆破器材全部

工兵隊 前記ノ外各種器材全部

兵器部 前記ノ外彈藥ノ一部

2 其他ノ兵器ニ在リテハ特ニ部隊ヨリノ希望アルモノノ外觀

察セス

三 實施ノ要領

1 應急復舊ニ關シテハ主トシテ職員用ニ充當シ得ヘキ程度ノ

資料ヲ蒐集スルト共ニ動員用兵器ノ程度低下防止ノ爲必要
トスル處置ニ關シ意見ヲ述フ

2 今次事變ノ兵器ニ及セル影響ト實績ニ關スル採究検討ハ主
トシテ兵器ノ現狀及各部隊ノ意見ニ基キ實施ス

3 兵器取扱保存ニ關スル指導ハ兵器ノ現狀及各部隊ノ意見ニ
基キ所長ノ指示又ハ指導ヲ行フ

4 以上實施ノ爲兵器ニ關スル意見ハ努メテ蒐集提出スル如ク
希望ス

5 各部隊ニ於ケル觀察實施ハ概ネ左ノ順序ニヨリ行フ

(1) 觀察官首座ノ演説

(四) 兵器一般ノ現況及提出意見ニ關スル説明及之ニ對スル質

疑

(五) 兵器ノ現狀觀察

(六) 觀察結果ニ基ク指導及所見闡明

0802

現品別送

陸技本秘甲第一四七號

第十師團諸部隊兵器現狀視察實施報告

昭和十四年十一月三十日

陸軍技術本部長 多田禮吉

陸軍大臣 畑 俊 六 殿

昭和十四年十一月一日陸普第七〇〇九號通牒ニ基キ實施セル首題兵器現狀視察ノ成績別冊ノ通報告ス

式三六二



五	別	
月		
日		
八		
日		
八		
日		

前 9286